

(様式1)

さが福祉サービス評価結果表

① さが福祉サービス評価機関名

特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ

② 施設・事業所情報

名称： 殿の浦愛児園	種別： 保育所	
代表者氏名： 園長 岳野 理花	定員（利用人数）： 60名	
所在地： 佐賀県唐津市呼子町殿ノ浦1837-1		
TEL： 0955-82-2932	ホームページ： http://www.tononouraijien.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日： 昭和24年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 聖母の騎士会		
職員数	常勤職員： 14名	非常勤職員： 3名
専門職員	園長 1名	保育士 12名
	准看護師 1名	栄養士 1名
	調理師 1名	保育士助手 1名
施設・設備 の概要	保育室 5室	遊戯室 1室

③ 理念・基本方針

理念

- ・ カトリックの愛と奉仕の精神で、一人ひとりのいのちを大切にし、すべての人の幸福を願う。
- ・ キリストの母マリアの心で、心身において助けを必要としている人々のかたわらに寄り添う。

基本法人

- ・ 保育所は、乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期の大半を過ごすところです。殿の浦愛児園は、児童福祉法に基づき、家庭や地域社会と連携を密にしながら、乳幼児の最善の利益を考慮し、生活環境を整え、豊かな感性を培い、健全な心身の発達を図ります。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・ マーチング、和太鼓、体育教室をすることにより心と体を鍛える。
- ・ お茶、お習字を取り入れ「静」の時間の大切さを知らせる。
- ・ 食育、環境教育を行い、自分の健康を守り豊かな食生活を送る能力や自然を大切にし、自然と共に生きる（自分も他者も大切に）能力を育てる。

⑤ さが福祉サービス評価の受審状況

評価実施期間	平成27年10月1日（契約日） ～ 平成28年2月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

I. 乳幼児に相応しい食生活の支援が行なわれています。

3歳未満児の朝のおやつには温野菜が提供されています。継続することにより、当初は多かった残食も今では殆どないといった状況が実現されています。

3歳以上児は白飯持参のため弁当保温機が導入されており、子どもたちはいつでも温かいご飯を食べることができます。

献立作成の際には、子どもの喫食状況を保育者に尋ねて同じ食材でも形や味を替える（ふかし芋・大学芋・芋けんぴ）などの工夫が凝らされており、野菜の切り方や形、大きさ、味付けなどの検討会を行うなど、給食担当者と保育者が連携しながら乳幼児に相応しい食事の提供に努められていることもうかがえます。

食物アレルギーのある子どもに食事を提供する際には、必ず栄養士と調理師で確認を行うなど細心の注意が払われています。

II. 働き易い職場環境の実現が安定的な保育の提供に結びついているようです。

職員の就業状況は、園長と主任保育士により把握されています。職員の相談には園長が随時対応されており、意向の把握などに繋がられています。福利厚生面では、健康診断や懇親会等が実施され、退職共済制度にも加入されています。また、時間外労働削減に取り組まれており、全員が勤務時間終了後直ぐに帰宅することも実践されています。職員の仕事と生活の両立に配慮され、働きやすい職場環境づくりに取り組まれている点は高く評価できます。

III. 苦情や意見、相談への迅速な対応に努められています。

苦情解決のための責任者及び担当者並びに第三者委員といった体制が整えられ、そのことを明示した文書の掲示も見られます。また、意見箱も設置されており、意見や要望が出やすくするための送迎時の体制づくりにも取り組まれています。苦情や相談、意見が生じた場合には、職員会議による検討が行われ、迅速な対応に努められています。

◇改善を求められる点

I. 園の理念・基本方針の実現に向けた中・長期計画の策定が求められます。

環境や施設整備等についての考えは聴取できますが、中・長期的な事業計画の文書化には至っていない状況です。人材育成や組織体制、設備等の現状分析を行なった上での中・長期計画の策定については今後の課題と捉えます。また、中・長期計画を実現するために必要な中・長期的な収支計画についても策定が求められます。

II. プライバシー保護や権利擁護に関するマニュアル等の充実を期待します。

利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアルの整備については十分とは言えない状況が見受けられます。子ども一人ひとりにとっての生活の場に相応しい心地よい環境の整備と同様に、プライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアルの充実も図られ、更なる保育の質の向上に繋がられることを期待します。

III. 適切な環境整備に向けた更なる工夫を期待します。

保育室は広く、整理整頓が行き届いています。玄関や廊下にはベンチやソファが設置されており、来園者の心が和む空間となっているようです。しかし、一人ひとりの子どもがゆっくりとくつろいだり、ほっと落ち着けたりするコーナーづくりなどについては、更なる工夫が望まれます。また、室内で探索活動が楽しめるような空間づくりなどについても更なる取り組みを期待します。

⑦さが福祉サービス評価結果に対する施設・事業所のコメント

(H28.2.15)

初めて第三者評価を受けてみて、何をどのように評価されるのか分からないままに不安でしたが、思ったよりも好意的に評価していただき感謝しています。

何気なく取り組んでいる日頃の保育に、もっと自信をもってアピールしてもいいところもあるのだと気づかせていただいたし、自分たちの中での評価の足りないことや、中長期計画の必要性などの気づきもありました。

実践していること自体は自信をもっていいということがわかりましたが、明確に書面化したものの不足が多いということも分かったので、これからもっと努力して、先の見通しをきちんと立て、これからの保育をさらに充実させていきたいと思えます。

⑧さが福祉サービス評価結果

別紙の「さが福祉サービス評価結果」に記載している事項について公表する。

さが福祉サービス評価結果

※すべての評価細目（45項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	①・b・c
<p><コメント></p> <p>カトリックの愛と奉仕の精神に基づき法人共通の理念が明文化されています。また、児童福祉法やカトリックの精神に基づいて、理念に整合した園の基本方針も掲げられています。</p> <p>職員には、職員会議において事業計画が配布・説明されており、理念・基本方針のカードを職員が携帯するなどの周知への取り組みも継続されています。</p> <p>保護者や地域の人には、入園のしおりやパンフレット等の配布による周知が図られており、保育室にも理念及び基本方針が掲示されています。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	①・b・c
<p><コメント></p> <p>社会福祉事業の動向や福祉サービスに関するニーズは、全国保育士会や園長会からの情報などにより把握されています。また、エンゼルひろば(地域子育て支援拠点)の活動の中で利用希望者についても把握されています。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	①・b・c
<p><コメント></p> <p>エンゼルひろば(地域子育て支援拠点)や乳児相談会への保育士派遣などにより、保育所が位置する地域の現状や地域の潜在的ニーズなどが把握されています。園長・主任保育士は、経営課題の解決にむけて戸別訪問による保育サービスを必要とされている家庭への働きかけなどに注力されています。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>施設や設備整備等についての考えは聴取できますが、中・長期的な事業計画の文書化には至っていない状況です。人材育成や組織体制、施設設備等の現状分析に基づく、具体的な中・長期計画の策定が課題と言えます。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容で策定されていますが、中・長期計画の策定に至っていないため、その整合性についての判断はできないといった状況にあります。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>年度末の職員会議において単年度の事業計画の実施状況の把握・評価等が行われ、その結果を踏まえた上で次年度の事業計画が策定されています。しかし、事業計画の策定については園長及び主任保育士があたり、全職員の参画は見受けられない状況です。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者に対しては、入園式での事業計画の説明や行事計画の配布が行われています。しかし、事業計画の内容をわかりやすい印刷物にするなど保護者の理解を促すための工夫については改善の余地が見受けられます。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>福祉サービスの質の向上に向けた取り組みは見られますが、組織的な取り組みには至っていない状況がうかがえます。継続的に計画・実行・評価・見直しの仕組みが機能するよう体制を整備されることが求められます。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員会議で、年度のまとめや反省は行われていますが、課題の抽出や見直し等の記録の在り方は十分とは言い難い状況です。今回の当該評価受審により表出した課題に対する今後の取り組みを期待します。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉞・b・c
<p><コメント></p> <p>園長の役割と責任については、事務分掌に明記され、職員会議において表明されています。また、災害に関する自衛組織表などで有事における役割と責任も明確にされています。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・㉞・c
<p><コメント></p> <p>遵守すべき法令等については、法人の「法令遵守」の本が職員に配布され、研修会が実施されています。関係法令のリスト化など職員への周知に向けた更なる取り組みが今後の課題と言えます。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・㉞・c
<p><コメント></p> <p>歴史があるマーチング指導は、年間を通して職員研修の中心に据えられ、マーチング指導の体制整備や内容についても園長のリーダーシップが発揮されています。しかし、課題の可視化と改善に向けた計画的な取り組みについては今後の課題と捉えます。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	㉞・b・c
<p><コメント></p> <p>業務の改善については職員の声を聴きながら、シフトの工夫や働きやすい環境づくりに取り組まれています。子どもには紙芝居を通して資源の大切さを教え、組織的には節水や緑化、節電などに園長のリーダーシップが発揮されています。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・㉞・c
<p><コメント></p> <p>経験や年齢、常勤・非常勤のバランス等を考慮した上で計画的に人員が配置されていますが、年度途中の乳児の入園希望や一時保育希望に対する保育士の確保には苦慮されているようです。保育士不足といった社会的な課題がある中でも地域ニーズに即した保育サービスを提供するための人材確保が計画的に行なわれることを期待します。</p>		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員には中堅保育士が多く、安定した保育を提供できる体制が整っているとと言えます。計画的に若い人材を採用され、先輩保育士による指導の下で人材育成も図られています。人事考課については過去に導入された経緯がありますが、現在は中断されている状況です。現在、再導入の方向で計画されている状況であり、今後の取り組みに期待したいところです。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員の就業状況は、園長と主任保育士により把握されています。日常的に職員の意向を把握するよう努められており、働きやすい職場環境の整備に注力されていることがうかがえます。福利厚生面では、「社会福祉施設職員等退職手当共済」制度への加入や健康診断の実施、レクリエーションなどが催されています。また、時間外労働の削減にも取り組まれており、勤務終了後は直ちに帰宅することを徹底されています。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>理念・基本方針を踏まえた全体目標は明確にされていますが、職員一人ひとりの育成に向けた計画的な取り組みには至っていない状況と言えます。職員一人ひとりの目標設定や面接などによる達成評価などの仕組みを構築され、人材の育成に繋がれることを期待します。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>教育・研修に関する基本姿勢は園の説明資料に明示されており、行政や保育連盟、法人内の研修などを中心とした受講が見られます。研修受講後には外部研修報告などの機会も設けられています。しかし、研修内容などの評価・分析については十分とは言い難い状況が見受けられます。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりの教育・研修計画の策定に至っていない状況です。非常勤職員の研修の在り方や職員の意向を踏まえた教育・研修の実現など、更なる取り組みを期待したいところです。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>実習生については、申し込みがあれば受け入れられているといった状況です。効果的な実習の実現のために、マニュアルや職種別に考慮したプログラム等を整備され、将来の福祉の担い手の育成に計画的に取り組まれることを期待します。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>理念・基本方針や保育活動などについてはホームページやパンフレットに掲載されていますが、財務や運営状況についての情報公開に至っているとは言い難い状況が見受けられます。事業や財務等に関する情報を積極的に公開し、運営の透明性の確保を図られることが求められます。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事務や経理、取引等は、職務分掌に定められた職員が担当されています。保育材料や物品購入は、園長の許可を得て注文するなど園のルールが明確にされ、職員にも周知されています。また、内部監査や法人監査も実施され、安定した経営が行われています。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>エンゼルひろば(地域子育て支援拠点)事業に取り組まれています。また、ひな祭りや町の文化祭、防火パレード(マーチング)への参加など様々な交流活動も行われています。高齢者施設の誕生会へは、0歳～5歳の乳幼児が毎月交替で訪問し、手作りカード渡しや遊戯・歌の披露など定期的な交流が行なわれています。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>地域の中学校コーラス部のボランティア活動があったのみで、他の申し入れはない状況です。ボランティア受入れに関する基本姿勢やマニュアルを整備し、積極的な受入れに取り組まれることを期待します。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>福祉関係や医療機関、幼稚園、小学校、行政など関連機関との情報の共有化は図られていますが、よりスムーズな連携を実現するための社会資源のリスト化には至っていない状況です。サービスの質の向上のために連携が必要な社会資源を職員間で共有するための仕組みの構築が望まれます。</p>		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>専用の部屋の設置や専任職員2名の配置によりエンゼルひろば(地域子育て支援拠点)事業が行なわれ、子育て相談などに積極的に対応されています。また、他の町の乳児相談に保育士を派遣するなど保育士のスキルを活かした活動も展開されています。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>地域ニーズに基づき一時保育や乳児相談、エンゼルひろば(地域子育て支援拠点)事業などに取り組まれています。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>保育室内に理念・基本方針が掲示され、理念・基本方針に基づく保育実践に取り組まれています。また、利用者を尊重した福祉サービスの提供に関する『倫理綱領』についても法人内で研修が積み重ねられています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・㉗
<p><コメント></p> <p>虐待防止の措置についての記載が「園のしおり」にあります。実施方法について明示したものは確認できませんでした。また、プライバシー保護に配慮した規程やマニュアルの整備は十分とはいえず、そのことについて職員が理解するまでには至っていない状況もうかがえました。規程やマニュアルの整備と、それに基づく実践に取り組まれることを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>情報提供は、保育園のパンフレットやホームページにより行なわれています。内容的にも写真での紹介や見やすい文字の使用など、わかりやすくまとめられており、呼子町が開催する乳児相談などに参画しながら、保護者等への説明など周知活動にも取り組まれています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>サービス開始に至るまでに、「園のしおり」を部分的に具体化するなどわかりやすい説明に努められています。</p>		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>これまでに転出などで転園する子はいましたが、関係機関や転園先との連携を図られた実績は見受けられない状況です。卒園した子どもの就学先とは連携され、子どもたちの成長を見守られています。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>年に2回、保護者総会を開催し、サービスについての意見を求められていますが、保護者からの意見は得られていない状況です。更なる福祉サービスの質の向上を図るために、保護者に対して満足度調査を行なうなどの取り組みを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>第三者委員が選出され、連絡方法や相談方法が保護者の目にとまる場所に掲示されています。また、書面上も流れが整備されており、苦情内容の記録も適切に保管されています。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「園のしおり」に相談方法を掲載したり、送迎の際に言葉かけを行ったりしながら信頼関係を築かれ、相談や意見が述べやすくなるよう努められています。また、わかりやすい場所に意見箱を設置し、意見を述べやすい環境整備に取り組まれています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者からの意見や要望は、職員会議で取り上げたり、園内研修でその内容について研修したりしながら、具体的な福祉サービスの改善につなげられよう取り組まれています。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>リスクマネジメントに関する責任者が任命され、ヒヤリハット報告書や事故報告書も整備されています。また、事案については職員会議で取り上げ、再発防止に向けた意識啓発も行われています。しかし、ヒヤリハットと事故の報告書が一体化しており、ヒヤリハットの記録は極めて少ないといった状況がうかがえます。今後は、ヒヤリハットと事故の報告を区分され、それぞれに応じた対策の検討などに取り組まれることを期待します。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>感染症に関する責任者によるマニュアルの整備や職員に対する周知活動が行われています。また、そのマニュアルは各保育室に掲示され、安全確保の体制づくりにも取り組まれています。</p>		

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にしている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>防災避難訓練の年次計画として「殿の浦愛児園防災計画」(原子力災害編)が整備され、訓練に取り組まれています。備蓄としては、必要な食料や備品が整備されています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>カリックの精神を特徴と捉え実施計画を文書化されており、職員はそのことを十分に理解されています。しかし、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢の記載などはまだ十分とは言えない状況です。設備面も含め更なるプライバシーへの配慮を期待します。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>福祉サービスの内容については月1回の会議を設けて検討が行われ、見直しにつながられています。また、その内容が全職員に周知されていることも会議録により確認できます。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>サービス実施計画が策定されていることは書面で確認できますが、アセスメント手法が確立された上でサービス実施計画通りにサービスが提供されているかを確認する仕組みの構築には至っていない状況が見受けられます。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・b・㉑
<p><コメント></p> <p>サービス実施計画の評価・見直しについては職員会議で行なわれていますが、記録からはPDCAサイクルが機能しているかが確認できない状況にあります。評価・見直しの記録は確実に残し、活用されることを期待します。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>一人ひとりのサービス実施状況は、組織として統一された方法で記録されています。また、職員会議等で情報の共有化も図られています。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>記録は、職員が常駐している部屋の定められた場所に保管されていますが、施錠管理には至っていない状況です。また、記録の管理に関する規程の充実と職員への周知を図られ、保管や保存、廃棄などについて確実な運用を図られることが求められます。</p>		

評価対象Ⅳ

Ⅳ-1 保育所保育の基本

		第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
46	Ⅳ-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>保育課程は、園の基本方針を基に編成されています。保育課程に基づいて年・月・週の保育計画が策定されており、日々の保育の実践に繋がられています。また、定期的な保育の振り返りや見直しも行われています。</p>		
47	Ⅳ-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>排便ごとに使い捨て手袋を使用し、臀部の洗浄が行なわれています。睡眠中は仰向けにし、SIDSに対して呼吸の状態などの目視が行なわれています。また、毎日の様子を園と家庭で伝え合い、連携しながら子どもを育むことを大切にされています。</p>		
48	Ⅳ-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>玄関には子ども用のピンクのソファが置かれており、落ち着ける空間となっています。0・1歳児室は、仕切りはあるものの同じ空間になっているため、一人ひとりの子どもがくつろいだり、ほっと落ち着いたりする場所の必要性が感じられます。1・2歳児室はよく整理整頓されていますが、子どもたちがわくわくとした気持ちで探索活動を楽しめるような環境整備には至っていない状況がうかがえます。</p>		
49	Ⅳ-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>玩具は種類別に分けられ、整理整頓が行き届いています。しかし、全面がフローリングで四角四面のため部屋全体が冷たく感じられます。年齢ごとに「ごっこ遊び」を盛んに楽しむことが予想されるため、絨毯や畳、ソファなどを設置され、子どもたちの遊びがより発展するような環境整備に努められることを期待します。</p>		
50	Ⅳ-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>幼保小合同研修会が年に3回実施され、小学校の校長先生の訪問による日常生活の視察なども行われています。小学校入学前には、幼保小でそれぞれ気になる子どもへの対応などを詳しく伝え合う場が設けられており、連携が図られています。</p>		

IV-1-(2) 環境を通して行う保育		
51	IV-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>玄関にはPM2.5のお知らせが掲示されており、環境へ配慮する姿勢がうかがえます。全保育室に加湿器が設置され、健康面への配慮も見てとれます。また、トイレや手洗い場も清潔に保たれています。</p>		
52	IV-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>0・1歳児は排泄後及び食前の手洗いが徹底されておらず、アルコール消毒が行なわれています。手洗いの習慣を身につけ、基本的な生活習慣の確立につなげられることを期待します。</p>		
53	IV-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>年間を通してマーチング活動が行われており、あいさつの仕方や話の聞き方、姿勢などは、音体教育を通して培われた姿であることがうかがえます。</p>		
54	IV-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>玄関には、子どもたちが拾ってきたどんぐりにペイントを施した「どんぐりトロ」が飾られています。また、園内の至るところに鉢物が飾ってあり、色とりどりの花も咲いています。夏には、メダカやカメの飼育なども行われています。</p>		
55	IV-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>遊びの中で自分自身の興味、関心に応じて様々な楽器を楽しむようになっていますが、子どもたちにははじめをつけることを学んで欲しいため、楽器は決められた時間に使うように指導されています。子どもたち手作りの卒園記念品「手作り箱」が園内の至る所で使われており、温かみを感じられます。</p>		
IV-1-(3) 職員の資質向上		
56	IV-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>日誌や記録等により保育実践を振り返られています。保育者間の互いの学びや意識の向上につながる取り組みとしては更なる工夫を期待したいところです。</p>		

IV-2 子どもの生活と発達

		第三者評価結果
IV-2-(1) 生活と発達の連続性		
57	IV-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>子ども一人ひとりの思いを受け止め、抱いたりやさしく声をかけたりされており、「早くしなさい」や「だめ」などの制止する言葉を発しないようにも努められています。</p>		
58	IV-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>近年において障がい児の利用はありませんが、研修会への参加などいつでも受け入れられる体制整備に努められています。</p>		
59	IV-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもに関する情報の職員間での引き継ぎは適切に行われています。長時間保育対象児は少ないようですが、一人ひとりが好きな遊びができる環境の整備に努められています。</p>		
IV-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
60	IV-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>健康に関する情報は、子どもの記録により共有化が図られています。体調が優れない時は、看護師と共に保健室でゆっくりと過ごせる環境にあり、丁寧な対応を心掛けられています。</p>		
61	IV-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>一人ひとりの喫食状況に応じて食事の量を加減するなどの配慮が行なわれています。専用の食事ルームは設けられておりませんが、テーブルクロスを使用したり、テーブルに花を飾ったりしながら食事を楽しむための環境整備を心がけられています。</p>		
62	IV-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>3歳未満児の朝のおやつには、温野菜が提供されています。また、弁当保温機により、子どもたちは毎日温かいご飯を食べることができる環境にあります。職員間での密接な連携により、アレルギー食の提供にも細心の注意が払われています。</p>		
63	IV-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	㉖・b・c
<p><コメント></p> <p>内科検診及び歯科検診は定期的実施されており、保護者への結果報告も行なわれています。3歳以上児は、毎日の食後の歯磨きと週1回のフッ素洗口を行なっています。</p>		

IV-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
64	IV-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	①・b・c
<p><コメント></p> <p>医師からの生活指導書が提出されており、アレルギー食を提供する前には給食担当者間での声だし確認と、保育者との配膳時の声だし確認が行なわれています。また、アレルギー食には個人名の付いたプレートが使用されており、間違いが生じないよう細心の注意が払われています。</p>		
65	IV-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a・②・c
<p><コメント></p> <p>衛生管理の責任者や担当者が明確にされておらず、衛生管理に関するマニュアルは更なる充実に期待を寄せたいといった状況にあります。組織としてのシステムを確認され、組織的で継続的な改善動に取り組みされることを期待します。</p>		

IV-3 保護者に対する支援

		第三者評価結果
IV-3-(1) 家庭との緊密な連携		
66	IV-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a・①・c
<p><コメント></p> <p>現在は、ブログによりおやつの写真や子どもたちの食事風景が発信されています。以前は、玄関に給食のサンプルを展示されていたのですが、保護者が関心を持たれなかったという理由で現在は展示されていない状況です。保護者に食への関心を持って欲しいという園側の思いが伝わるような取り組みとともに、サンプル展示の再開が実現されることを期待します。</p>		
67	IV-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a・②・c
<p><コメント></p> <p>伝達方法としては、送迎時の会話や個人ノートの活用が見られます。保護者との信頼関係は築けているようですが、保護者からの個別相談はほとんどない状況です。</p>		
68	IV-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a・③・c
<p><コメント></p> <p>毎月の誕生会には対象児の祖父母を招待し、写真のプレゼントが行われています。懇談会や保育参観なども行なわれていますが、保護者(父母)の参加は比較的少ないといった状況にあります。</p>		
69	IV-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a・④・c
<p><コメント></p> <p>ネグレクトに対しては、保育の中で観察が行なわれており、職員間では情報の提供や共有に取り組まれています。身体を目視確認を行う機会が少ないため、月1回の身体計測日にチェックされるなどの取り組みを期待します。</p>		